

- 1501年、ポーランド、リトアニア大公アレクサンデル(40)がヤギエウォ朝の国王となり、両国の同君連合が復活する。
- 1502.4.3、ドイツ、ライン川上流地域で、農奴出身のヨス・フリッツを首領とする大規模な農民一揆が企てられる(ブントシューの反乱)。
- 1502年頃、西ヨーロッパ、植民地からの富の流入や産業構造の変化によって、のちに「価格革命」とよばれる長期的な物価上昇が始まる。
- 1502年頃、ベルギー、画家ボスが「快楽の園」「患者の船」などを制作する。
- 1505.1.18、ヨーロッパ、ハプスブルク家の各宮廷間の通信をつかさどっていたフランス・フォン・タクシス(45?)が、フランスやスペインの宮廷をもつた郵便制度を発足させる。
- 1505年、ドイツ、アウクスブルクのフッガーハウス家とヴェルザー家などが東方香料交易に乗り出す。
- 1505年、ドイツ、ザクセン選帝侯の宮廷両家となつたルーカス・クラーナハ(父、33)が、ワインからヴィットテンベルクに移住して活動を開始する。
- 1505年、ポーランド、貴族が組織する二院制の国会が国王アレクサンデルに認められ、事実上国会が王権に優越することになる。ポーランドはこのころから最盛期を迎える。
- 1506.12.8、ポーランド、ジグムント1世が国王に即位する。
- 1507年、ドイツ、アルブレヒト・デューラーが等身大の裸体画「アダムとイヴ」を完成する。
- 1510年頃、西ヨーロッパ、スペインやポルトガルの遠距離航海や植民地政策によって西ヨーロッパの商業構造が変化し、商業の中心はハンザ諸都市、ヴェネツィアなどからイベリア半島やネーデルラントに移り、アラビア経由の貿易は衰退しあらざる。
- 1511年、ドイツ、神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世(52)の布告により、ヘブライ語の書物の除去が図られる。これに対し、学者ヨハン・ロイヒリン(56)が反対論争を開始する。
- 1511年ポーランド、・国会が輸出にむけての穀物増産を図り、農民の自由移動を全面的に禁止する。
- 1512年、ドイツ、ケルンの神聖ローマ帝国議会で、帝国の最高権力は帝国議会に帰属すると決議される。
- 1513年、デンマーク・ノルウェー、クリスティアン2世(32)がデンマーク・ノルウェー両国の王として即位する。
- 1514年、ドイツ、教皇レオ10世(39)への莫大な献金によってマイント大司教職を得たアルブレヒト(24)が、教皇からドイツでの贋有状(免罪符)の販売を委託される。
- 1514年、ハンガリー、農奴として抑圧された農民の反乱、ドージャ農民戦争が起こるが、サボヤイ・ヤーノシュの軍隊に鎮圧される。
- 1515.7.22、ウィーン、ハプスブルク家とヤギエウォ家の2組同時結婚が行われる。両家のマリー・ヒルドヴィク、そして、のちの神聖ローマ帝国皇帝フェルディナントとアンヌがそれぞれ結婚する。
- 1516.8.9、ドイツ、画家ヒエロニムス・ボス(66?)が故郷のアーヘンで没する。
- 1516.12、ベルギー、トマス・モアが「ユートピア」を出版する。
- 1516年、スイス、チューリヒで司祭ウルリヒ・ツヴィングリ(32)が、修道士の品行の悪さや教会の贅沢好み、戦争への参加を批判する。
- 1516年頃、ドイツ、画家クリューネヴァルトがイーゼンハイム祭壇画を完成させる。
- 1517.10.31、ドイツ、マルティン・ルターが、贋有状の効力を明らかにするための討論「95か条の提題」をヴィットテンベルク城付属教会の扉に貼り出す(宗教改革の始まり)。
- 1517.11.初旬、ドイツ、95か条の提題の写しが出現し、ドイツのあちこちに出回る。翌月にはドイツ語訳が現れ、スイスのバーゼルでもパンフレットのかたちで出版される。
- 1517年、ベルギー、人文主義者エラスムス(48?)が、ラテン語、ギリシア語、ヘブライ語を教えるカレッジをルーヴェンに創立する。
- 1517年頃、ドイツ、神聖ローマ帝国内で贋有状が売り出される。
- 1518年、ドイツ、ドミニコ会士ヨハン・テツツエル(53?)が、ルター(35)を異端としてローマに告発する。
- 1518.10.12、ドイツ、アウクスブルクで教皇使節の枢機卿ガエタヌス(49)が、ルターの審問を行う。これまで書いてきたことを取り消すよう求めるが、ルターは拒絶する。
- 1518年、オランダ、人文主義者エラスムス(49?)が「対話集」を著し、ローマ教会に対する批判とともに改革派の熱狂に対しても批判を行う。
- 1518年頃、ドイツ・スイス、宗教改革をめぐるパンフレットが神聖ローマ帝国各地で大量に出回る。
- 1519.1.12、オーストリア、神聖ローマ帝国皇帝マクシミリアン1世(60)がヴェルスで没する。
- 1519.6.28、ドイツ、フランクフルトで行われた皇帝選挙で、スペイン王カルロス1世がカール5世として即位することが決定する。
- 1519.7、ドイツ、ライプツィヒで、インゴルシュタット大学教授ヨハン・エック(33)とルターとの公開討論が行われる。エックの巧妙な論法で、ルターは異端を認めたとされる。
- 1520.2、ドイツ、ルターが三大宗教改革文書「ドイツのキリスト教貴族に」「教会のバビロン捕囚について」「キリスト者の自由」の執筆を始める。
- 1520.11.4、スウェーデン、ノルウェー・デンマーク王クリスティアン2世(39)がスウェーデンを征服し、スウェーデン王としても戴冠する。
- 1521.4.19、ドイツ、ヴォルムスにおいてカール5世と教皇レオ10世のあいだで対仏秘密同盟が成立する。
- 1521.5、ドイツ、ザクセン選帝侯フリードリヒ(58)が、ルターをヴァルトブルク城にかくまう。
- 1521.8.28、ドイツ、カール5世がルターを帝国追放令に処する(ヴォルムス勅令)。
- 1522.1.24、ドイツ、ヴィットテンベルク市当局が教会管理権掌握を宣言する。憤慨した急進的ルター派は教会改革、偶像破壊運動に走る(ヴィットテンベルク騒動)。ルターは3月9日からの8日間の説教で暴力的急進化を非難し、騒乱を収める。
- 1522.9、ドイツ、ルターが新約聖書のドイツ語訳を完成する。
- 1523.1.19、スイス、チューリヒで大聖堂付説教師ウルリヒ・ツヴィングリ(39)が、宗教改革を求める「67論題説」を出版する。この年、彼はこれをもとにコンスタンツ司教を公開討論で論破する。
- 1523.5.7、ドイツ、前年、フランス・フォン・ジッキンゲン率いるシュヴァーベン騎士団がトリール大司教を攻撃するが、この月に鎮圧される(騎士戦争)。この失敗は帝国騎士の無力化を決定的因素。
- 1523.6.6、スウェーデン、国王グスタフ1世が反乱を起こし、デンマークからの独立を達成する。
- 1523.7.1、ベルギー、ブリュッセルで2名のルター支持者が異端として火刑に処される。宗教改革の処刑ではもっとも早い例となる。
- 1523年頃、世界、梅毒が世界に広がる。
- 1524.9、スイス、バーゼルで人文主義者エラスムスが「意志自由論」を発表し、翌25年ルターとのあいだで大論争が始まる。
- 1525.3.6、ドイツ、メンミングで農奴制撤廃などを掲げた「12か条綱領」が採択される(ドイツ農民戦争)。
- 1525.4.8、ドイツ、ホーエンツォレルン家出身のドイツ騎士団総長アルブレヒト(35)が、ポーランドから騎士団領を封土として授与される。彼は初代プロイセン公を称し、ルター派の教会を建てて国教とする(プロイセン公國の成立)。
- 1525.7.19、ドイツ、ブランデンブルク選帝侯、ブラウンシュヴァイク大公およびザクセン選帝侯アルベルト系のゲオルグラカトリック諸侯が、新教に対抗するデッサウ同盟を結成する。
- 1525年、ドイツ、イギリスの宗教改革者ウィリアム・ティンダル(33?)が、英語訳「新約聖書」を出版する。のちにイギリス国教会の欽定訳聖書の基礎となる。
- 1526.2.27、ドイツ、ヘッセン方伯やザクセン選帝侯などルターを支持する諸侯が、デッサウ同盟に對抗して、ゴータ・トルガウ同盟を結成する。
- 1526.6、ドイツ、カール5世はルター派抑圧のためシュバイヤーで帝国議会を召集するが、逆にルター追放を決めたヴォルムス勅令の実施を延期することになる。
- 1526.8.29、ハンガリー、オスマン軍がモハーテでハンガリー軍を破る。
- 1526.11.10、ハンガリー、トランシルヴァニア侯サボヤイ・ヤーノシュ(39)がハンガリー貴族たちから国王に選出される。一方、神聖ローマ帝国は1515年の合意にもとづいて、12月17日にカール5世の弟フェルディナント(23)をハンガリー・ボヘミア王とし、以後、ハンガリーは2王朝が対立する。
- 1527年、スウェーデン、議会がルター派の教義を国教に定める。これにより国王グスタフ1世(31?)は、教会財産を接収し国庫を建て直す。
- 1528.1、スイス、バーゼル大学の医学教授パラケルススが追放される。
- 1529.2、ドイツ、ルター派諸侯が、シュバイヤー帝国議会の議決に対し、抗議書を提出する。
- 1529.4、スイス、カトリック森林5州がキリスト教同盟を結び、チューリヒなどの新教同盟に對抗する。6月にチューリヒがキリスト教同盟に宣戦し勝利する(第1次カッペル戦争)。
- 1529.9.27、オーストリア、オスマン軍が、ウィーンに進軍し包囲する。
- 1529.10.1、ドイツ、カール5世に對抗する軍事同盟形成にむけ、ヘッセン方伯の仲介でドイツのルター派とスイスの改革派が会議を開く(マールブルク会談)。しかし、ルター(46)とツヴィングリ(45)のあいだで神学上の解釈の一一致を見出せず決裂する。
- 1529年頃、ドイツ、画家アルブレヒト・アルトドルファーが「アレクサンドロス大王の戦い」を描く。
- 1530.6.25、ドイツ、アウクスブルクの帝国議会で、プロテスタントが和解を図り「アウクスブルク信仰告白」を提出する。
- 1531.2.27、ドイツ、プロテスタント諸侯が、神聖ローマ帝国に對抗しシュマルカルデン同盟を結成する。
- 1531.10.11、スイス、チューリヒの宗教改革の指導者ツヴィングリが、第2次カッペル戦争で戦死する。
- 1532.7.23、ドイツ、神聖ローマ皇帝カール5世(32)が、シュマルカルデン同盟諸侯と二ユルンベルクの和約を結んで休戦する。
- 1532.8.28、ハンガリー、再びハンガリーに侵入してウィーンをめざしていたオスマン軍が、神聖ローマ帝国軍に敗れ撤退する。
- 1532年頃、ベルギー、アントウェルペンが、ヨーロッパの商業・金融の中心となる。
- 1532年、ヨーロッパ、既存の修道会の内部改革やカトリック系修道会の新設がすすめられる。スウェーデン、ポーランド、フィンランドなどでは聖書の各国語訳が行われる。
- 1533.6.22、ハンガリー、オスマン朝のスレイマン1世(39)とハンガリー王フェルディナント1世(30)が和平を結ぶ。ハンガリーの宗主権についてはフェルディナントと、オスマン朝の認めたサボヤイ・ヤーノシュ(46)との分割統治が決定される。
- 1534年、デンマーク、前年のフレデリク1世の死去のあと、王位継承戦争が起り、新教徒のクリスティアン3世(31)が王位に就く。
- 1535.6.24、ドイツ、地上に神の国を実現しようと北ドイツの都市ミュンスターに千年王国を樹立したミュンスター再洗礼派王国が、新旧諸侯軍により陥落する。
- 1536.3、スイス、バーゼルでカルヴァンが「キリスト教綱要」を出版する。しかし、改革の基盤が弱いため、7月に立ち寄ったカルヴァンに協力を求める。
- 1536.5.21、スイス、ジュネーブ市民総会で宗教改革宣言が採択される。しかし、改革の基盤が弱いため、7月に立ち寄ったカルヴァンに協力を求める。
- 1536年、ドイツ、新教徒のシュマルカルデン同盟内でヴィットテンベルク協約が結ばれる。再洗礼派など急進派は否定され、ルター派の勢力が増す。
- 1537.1、スイス、ジュネーブでカルヴァン(28)が厳格な宗教改革を推進し、「ジュネーブ信仰告白」を作成する。これに反発した議会は、翌年春に彼とファレルを追放する。
- 1537年、デンマーク、国王クリスティアン3世が、貴族会の承認をうけルター派を導入する。
- 1538.2.29、ハンガリー、それぞれ国王を自称するフェルディナント1世(34)とサボヤイ・ヤーノシュ(50)がグロスヴァーダインで講和を結び、サボヤイの死後、ハンガリー全土をフェルディナントが相続することを決定する。
- 1538.6.10、ドイツ、カトリック諸侯が、シュマルカルデン同盟に抗してニュルンベルク同盟を結成する。
- 1539年、ドイツ、ブランデンブルク選帝侯がルター主義を採用する。ザクセン選帝侯国で全領内で宗教改革が実施され、新教の領邦教会が制度的に確立される。

- 1540年、ベルギー、前年、ヘント(ガン)の反乱を鎮圧したカール5世(40)は、ギルドの長や参会員20名を処刑し、市の諸特権を剥奪する。
- 1541.8.29、ハンガリー、オスマン帝国がハプスブルク家に対する戦争を再開し、この日、再びブダを占拠する。
- 1541.9.13、スイス、カルヴァンがジュネーブに帰り宗教改革をすすめる。
- 1541.12.29、ハンガリー、故サボヤイ・ヤーノシュの夫人が、フェルディナント1世(38)に正式に王位を譲り渡す。以後、ハンガリー王位は神聖ローマ皇帝が兼任する。
- 1543.3.21、ドイツ、天文学者コペルニクスが、地動説を解説した「天球の回転について」を刊行する。
- 1546.2.18、ドイツ、マルティン・ルターが没する。
- 1546.6、ドイツ、カール5世が、プロテスタント諸侯とシュマルカルデン戦争を開始する。
- 1547.4.24、ドイツ、カール5世がマールブルクの戦いでプロテスタント諸侯の同盟軍を破り、シュマルカルデン戦争は終結する。
- 1547年頃、ヨーロッパ、新しい芸術様式マニエリズムが隆盛となる。
- 1548.4.1、ポーランド、国王ジグムント1世が没する。
- 1548.5.15、ドイツ、アウクスブルク帝国議会で、神聖ローマ皇帝カール5世が「仮信条協定」を提出する。
- 1548.7、オランダ、神聖ローマ帝国が、ネーデルラント17州を帝国領のブルゴーニュ公国に併合する。
- 1549.6、スイス、ツヴィングリの後継者ヨハネス・ブリンガー(45)らと、カルヴァン(40)とのあいだで、聖体拝領の教義についての合意が成立する。
- 16世紀、西ヨーロッパ・アフリカ、アメリカ大陸からもたらされた、とうもろこしやタピオカ、落花生、タバコなどが普及はじめる。
- 1550年、アイスランド、デンマーク王クリスティアン3世(47)の新教導入に対して抵抗軍を組織した司教アラソンが、異端として処刑される。
- 1551年、ドイツ、天文学者エラスムス・ライントホルトが、コペルニクスの天文表を改良した「プロシア表」を作成する。
- 1552.5、ドイツ、モーリツがアウクスブルクを奪い、インスブルックで皇帝カール5世を攻撃する。カール5世は、実権を弟のフェルディナント(49)に譲り渡す。
- 1552.8.2、ドイツ、フェルディナントは獄中の新教諸侯を解放し、モーリツとパッサウ条約を結んで信教の自由を認める。
- 1552年頃、ベルギー・オランダ、植民地交易の中継地として、ネーデルラントの諸都市が繁栄する。
- 1553.10.16、ドイツ、画家ルーカス・クラーナハが没する。
- 1553.10.27、スイス、三位一体説などを批判したスペインのセルヴェトスが、カルヴァンにより異端とされ火刑に処される。
- 1555.9.25、ドイツ、アウクスブルク帝国議会で、アウクスブルク宗教と議が成立する。
- 1555年頃、ヨーロッパ、ねじくぎや止めねじなどのねじ式の道具が普及はじめる。
- 1556.9.12、ドイツ、神聖ローマ皇帝カール5世が退位する。
- 1557.7、ベルギー、フランス政府とスペイン政府が破産状態となり、戦費の返済が不可能となったため、債権者のフッガーハウスなどは大損害を受け、商業の中心地アントウェルペンは危機的な状態に陥る。
- 1558.3.14、ドイツ、フェルディナント1世が、教皇の聖別なしに神聖ローマ皇帝として戴冠する。
- 1559年、ベルギー・オランダ、スペイン王フェリペ2世が、パルマ公妃マルガレタ(37)を執政に任命し、腹心のグラントヴェル(42)を補佐にあてて、ネーデルラントを統治させる。
- 1562.7.1、ハンガリー、オスマン帝国のスレイマン1世(67)と、神聖ローマ皇帝フェルディナント1世(59)の間に和平がなり、オスマン帝国がハンガリー全土を領有する。
- 1564.3.13、ベルギー・オランダ、エグモント伯(42)やオラニエ公ウェーレム(31)らの抗議により、スペイン王フェリペ2世の腹心グランヴェル(47)がスペインへ召還される。
- 1564.10.15、ギリシア、ベルギーの解剖学者エグモントが没する。
- 1565.9.5、ベルギー、ブリュッセルが季節劇シリーズを完成する。
- 1566.4.2、ベルギー、オラニエ公ウェーレム(33)やエグモント伯(44)を中心とする200人の貴族同盟が、執政パルマ公妃(44)の宮殿に押しかけ、異端審問の廃止と全国議会の召集を求める。
- 1566.8.10、ベルギー、ヘント(ガン)やフランドル各地でカルヴァン派による聖像破壊運動が起こる。パルマ公妃は、礼拝の自由を一部認める。
- 1566.9.6、ハンガリー、オスマン朝のスルタン、スレイマン1世が没し、30日、セリム2世が即位する。
- 1567.8.ベルギー・オランダ、スペインからネーデルラントに派遣されたアルバ公フェルナンド(60)が「血の法廷」を設置し反乱者の弾圧を開始する。9月には反乱の指導者エグモント伯らが捕らえられる。
- 1568.6.5、ベルギー、エグモント伯が大逆罪で処刑される。
- 1569.7.1、ポーランド、ポーランドとリトアニアがルブリン連合を結び、同君連合が成立する。
- 1569年、ドイツ、地理学者メルカルトルが世界地図を作成する。
- 1570.9.9、キプロス、オスマン朝が、キプロス島のニコシアを占拠する。
- 1572.4.1、オランダ、反スペインの軍事集団ゼー・ゴイゼン(海の乞食団)が、ブリーレを攻略する(オランダ独立戦争)。
- 1572.11、デンマーク、天文学者チコ・ブラーイ(26)が、カシオペア座のなかに新星を発見し、(ほかの恒星と同様、動かない星であることを立証する。
- 1573.5.11、ポーランド、ヤギエウォ朝の断絶により、初の国王選挙が行われ、アンリ・ド・ヴァロアの王位継承が確定する。
- 1573.12、ベルギー・オランダ、総督アルバ公が独立運動の鎮圧に失敗して解任され、本国スペインに召還される。後任にはドン・ルイ・レクエセンスが就任する。
- 1574年、ドイツ、ルターの弟子の神学者フラキウス・イリュリクス(54)が、新教徒による初の教会史を著し、ルター派の正統性を訴える。
- 1575年、ポーランド、トランシルヴァニア公のステファン・バトーリ(42)が、国王に選出される。
- 1576.10.12、ドイツ、ルドルフ2世が神聖ローマ皇帝に即位する。
- 1576.11.4、ベルギー、アントウェルペンでスペイン人による略奪事件が起り、各地で反乱が始まる。
- 1576.11.8、ベルギー、全ネーデルラント17州がスペインに対抗するため、ヘント(ガン)協定を結ぶ。
- 1576年、デンマーク、天文学者のチコ・ブラーイが、天文台を完成し天体観測を始めること。
- 1577.9.23、ベルギー、ユトレヒト州総督に認められたオラニエ公ウェーレム(44)が、市民の歓迎を受けてブリュッセルに入城する。
- 1578.7、オランダ・ベルギー、オラニエ公ウェーレムが新旧両教徒に宗教和平案を示すが、両教派ともこれを受け入れず、ネーデルラント国内は内戦状態となる。
- 1579.1.6、ベルギー、南部のカトリック諸州がアラス同盟を結成する。
- 1579.1.23、オランダ、プロテスタントのネーデルラント北部7州が、ユトレヒト同盟を結成する。
- 1579.5.17、ベルギー、総督アルバーネーが、アラス同盟と講